

# 市老協だより

## 夏号

### 市民の皆様が笑顔でいきいきと過ごさせる

### 「健康長寿のまち・京都」の更なる推進に向けて

令和5年4月1日付で京都市保健福祉局長に就任いたしました安部康則です。

一般社団法人京都市老人福祉施設協議会の皆様におかれましては、高齢者お一人おひとりの健やかで尊厳ある暮らしのため、日々、御利用者の皆様や御家族に寄り添いながら、丁寧で心のこもった、質の高いサービスを御提供いただくとともに、「介護の日記念事業」やハートメッセンジャーの活動など、介護の魅力発信に向けた様々な取組等を通じ、担い手の裾野拡大に向けて積極的に取組を行っていただいております。本市高齢者福祉施策の推進に多大な御協力を賜っていることを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、令和元年度から猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症は、本年5月8日に感染症法上の位置付けが2類から5類へと移行しましたが、新型コロナウイルスの病原性・感染性は変わらないことから、重症化リスクの高い高齢者の生活に必要不可欠な介護サービスを提供している高齢者施設職員の皆様には、引き続き、感染防止対策の実施をお願いしております。大変な緊張感の中で、御尽力・御努力を重ねてくださっていることに対し、改めて心から敬意と感謝の意を表します。

さて、今年度は、「第8期京都市民長寿すこやかプラン」の最終年度であるとともに、「第9期京都市民長寿すこやかプラン」の策定年度でもあります。

第8期京都市民長寿すこやかプランについては、皆様の御協力の下、着実に進捗しており、総仕上げを行うべく、達成に向けた取組を推進してまいります。また、プランの主要な取組である介護の担い手確保に向けては、引き続き、介護の仕事の魅力や社会的役割等の発信をはじめ、より効果的な取組となるよう、貴協議会をはじめ関係団体の皆様と連携して進めるとともに、一層の処遇改善が図られるよう引き続き国に要望してまいります。

第9期京都市民長寿すこやかプランの策定に当たっては、貴協議会の皆様による高齢者福祉の最前線での御努力や創意工夫、現場での実践で培ってこられた深い知見と力強い御提言に学ばせていただき、市民の皆様が笑顔でいきいきと過ごせる「健康長寿のまち・京都」の更なる推進に向けた検討を進めてまいります。

結びに、貴協議会のみまますの御発展、並びに皆様方の御健勝、御多幸を心より祈念申し上げます。



京都市保健福祉局

局長 安部 康則 氏

## INDEX

- 01 あいさつ
- 03 新役員体制のご挨拶
- 04 合同入職式について
- 06 物価高騰に対する取り組み
- 07 ハートメッセンジャー紹介
- 08 すばる高校 コラボ動画紹介

# 過去から学び、今日のために生き、

## 未来に対して希望を

これまで、山岸孝啓前会長のもと、市老協会員の皆様が円滑な事業運営となるよう貢献したいという思いで、微力ながら副会長を務めさせていただき、この度、会長に就任いたしました。

当協議会は、超高齢社会の中で、高齢者福祉施設が果たすべき使命（役割の重要性）を認識し、高齢者福祉サービス向上のための課題について、調査・研究・研修・実践等の活動を行い、京都市における高齢者へのサービス向上及び充実に寄与することを目的とし、京都市内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、ケアハウス等の社会福祉法人が運営する全施設（128施設）の加入により組織され、1963年（昭和38年）の発足から60年を迎えました。改めて、重責に引き締まる思いであります。

これまでの伝統の継承はもとより、更に会員相互の融和による協調を進めてまいりたいと存じます。「温故知新」を念頭に、2019年度に策定しました「VISION2025 DREAM DESIGN」を基本に、皆様からのご意見、ご指導を賜りながら、地域共生社会の実現に向けて、施設の役割を発揮するための「会員協働による新たな市老協のカタチ」を創造してまいります。

今後、「京都市版地域包括ケアシステム」の構築



一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会

会長 兎玉 直久

(香東園やましな)

において、高齢者福祉サービスは大切な役割を担い、「地域共生社会」の推進役として持続可能なサービス提供ができるようになってはなりません。喫緊の課題として、特に次期介護報酬改定は、大きな転換に備え、調査、分析を実施したエビデンスによる市民の方々のニーズに寄り添う政策提言を行うことが重要です。

当協議会加盟施設のある、この京都市に住んで、安心した生活を送ることができて良かったと思っただけのよう、また、加盟施設の職員の皆様には、大切な仲間づくりによる融和、会員相互の切磋琢磨の協調で、働いて良かったと思えるような活動促進に、鋭意努力してまいりますので、どうか温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。







# 一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会

## 新役員体制のご挨拶

平素は当協議会の事業に格別のご高配を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、令和5年3月22日の会員総会において新役員（理事・監事）が選任され、4月1日の臨時理事会で会長、副会長を選任いたしました。

コロナ禍や不安定な社会情勢による物価の上昇など、高齢者福祉を取り巻く課題はたいへん多岐にわたりますが、市民の皆様の暮らしを支える社会福祉法人の使命と、協議会が果たすべき役割の重さを認識し、役員一同決意を新たに会務運営に尽力する所存です。  
何卒ご指導ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。



堀池 克彦 理事（一般社団法人京都市老人福祉施設協議会 事務局）

坪倉 真樹子 理事（社会福祉法人七施会 アムールうずまさ）

北田 恵美子 理事（社会福祉法人フジの会 みやびのその）

河合 悟 副会長（社会福祉法人洛南福祉会 レーベン横大路）

新川 昌代 理事（社会福祉法人健光園 健光園あらしやま）

溝口 武美 副会長（社会福祉法人北桑会 ケアハウスなごみの里）

塩見 徹也 監事（社会福祉法人北野健寿会 西陣憩いの郷）

始田 知大 理事（社会福祉法人美郷会 大枝美郷）

竹田 史門 理事（社会福祉法人同和園 同和園）

林 忍夫 理事（社会福祉法人協和福祉会 ケアハウス山科）

児玉 直久 会長（社会福祉法人香東園 香東園やましな）

中島 慶行 理事（社会福祉法人京都福祉サービス協会 京都市小川）

河本 歩美 副会長（社会福祉法人京都福祉サービス協会 紫野）

石黒 善治 監事（社会福祉法人積慶園 山科積慶園）

川田 雅之 副会長（社会福祉法人京都老人福祉協会 春日丘センター）

鈴木 克啓 理事（社会福祉法人伏見にちりん福祉会 ケアハウス西院）

西村 久史 副会長（社会福祉法人勸修福祉会 長楽園）

伊藤 禎哉 理事（社会福祉法人レモングラス そらの木）

石田 昌男 理事（社会福祉法人富士園 梅津富士園）

石田 雅之 監事（社会福祉法人仁恵会 ユーカリの里）

村上 幸子 理事（社会福祉法人京都基督教福祉会 シオンの里）



# 令和五年度 合同入職式について

令和5年4月15日(土)「令和5年度新入職員合同入職式」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、昨年と同様のオンラインで開催いたしました。入職者の記憶と同志の繋がりを感ずる1日となりました。

2023  
04.15(sat)

Start 13:30  
Close 15:00

Program

- 13:30 開会挨拶
- 13:40 来賓挨拶 (京都市長)
- 13:50 来賓挨拶
- 13:55 入職者代表挨拶と決意表明
- 14:10 入職者交流イベント
- 14:55 閉会挨拶

対象者 ー 令和5年4月1日以降入職される方

場所 ー オンライン (ZOOMミーティング)



京都市長 門川 大作



チキチキシヨニー

令和5年度 新入職員合同入職式



## 第1部：合同入職式

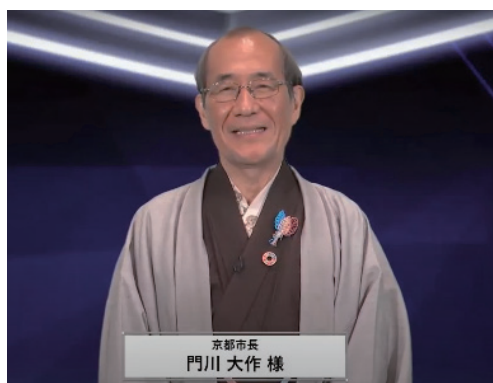
今年度は85名の入職者が、各施設よりパソコンやスマートフォン画面を通して式典に参加をしました。入職式は児玉直久会長の挨拶から始まり、入職者へ向けて歓迎と激励、お礼の言葉を述べました。「当協議会のコロナ禍での活動や行政や協議会内の施設との連携を強化する事が出来た。より高い技術とより深い知識を身に纏い、融和と強調を大事に進みたい。」続けて「プロとしてポジティブな自分を保ち、介護と一緒に楽しみたい」と入職者に熱い思いを伝えました。



一般社団法人京都市老人福祉施設協議会 会長 児玉 直久

門川大作京都市長からのご祝辞では介護という尊い仕事に携わる全ての人に感謝の言葉をいただきと共に、市長ご自身が福祉現場にて職員さんとお話をしたエピソードより、福祉従事者の皆さんの志の高さに胸が熱くなったこ

と。そして超高齢社会における担い手の育成や少子化という深刻な課題に国と連携し一層の支援強化に取り組んでいきたい。というお気持ちを聞かせていただきました。



京都市長 門川 大作 様

学校関係者を代表して、学校法人佛教教育学園佛教大学教授の岡崎祐司先生からご祝辞を頂戴しました。これから福祉の専門職となる入職者に向けて、「福祉の世界はまだ60年しか経っていない。不安を和らげて人の辛さを理解し笑顔を作って誰もが自分らしく生きられる世界の皆さんはフロントランナーである。」という言葉に続けて「気概と誇りを持ってケアの仕事に携わってほしい」と入職者に温かいメッセージを頂きました。





続いて入職者代表のお二人による「挨拶と決意表明」がありました。高齢者福祉の担い手として社会で活躍できることになった喜びと誇りをもって福祉社会の発展のために全力を尽くし、日々精進していく覚悟について高らかに決意を述べられました。



**墨染の家ほつこり・齋 洋一 (写真右)**  
 合同入職式は、オンラインの実施ではありましたが、同じ福祉を志す仲間  
 の決意を聞くことができ、不安が和らぐと共に刺激となりました。これから福祉専門職としてご利用者の生活を支えられるよう日々精進していきたいと思  
 います。

**その木・谷口 絢音 (写真左)**  
 合同入職式では、人の援助の尊さを再認識するとともに、多くの仲間が存在することを目の当たりにしました。そして、仲間の存在はとても心の励みとなりました。これからも高齢者福祉の担い手として、仲間の存在を糧に日々精進していきます。

**第2部・入職者交流イベント**

松竹芸能所属のお笑いコンビ、チキチキジョニーのお二人が新入職員の皆さんに福祉の仕事を選んだ理由やこれからの目標や抱負などのインタビューを行い、楽しい交流の時間を過ごしました。他府県から京都市の施設に入職した同期職員に京都出身の入職者が京都のおすすめスポットを勧める場面もありました。近年では所属施設に同期職員がいなくても多いですが市老協という大きな組織にこれだけたくさん同期がいることや繋がりを感じていただけたと思います。



**閉会 (河合副会長)**

最後は河合副会長より閉会のご挨拶をいただきました。自分が入職した頃を思い出し、入職した当初は色々な事に挑戦する意欲が沸いていたが、徐々に仕事がつらくなってくる時がある。その時に大事MANブラザーズ

ンドの「それが大事」という曲が心に響いて聞いていた。曲の中で「負けな  
 いこと・投げ出さないこと・逃げ出さないこと・信じ抜くこと・涙みせてもいいよ・それを忘れなければ。」という歌詞に感銘を受けた。入職者に「しんどい時やつらいときに何か自分を奮い立たせるものを見つけて欲しい」と激励される。「それが大事」の曲を独唱し、閉会となりました。



それぞれ施設は違いますが、市老協という大きな組織の中で切磋琢磨しながら支え合い、京都市の高齢者福祉がより高品質なサービスを提供し、組織全体が成長出来るように祈っております。

(人材確保・定着委員会 星川 光)

# 物価高騰に対する公的支援などを求める取り組みについて

当協議会においては、会員法人の様々な事業運営や地域活動などが円滑に進むよう、京都市との協議や要望書の提出、国への働きかけや関係団体との連携などにも取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症への対応についても、3年前の国内で初めての発生以来、京都市との緊密な連携のなかで、様々な協議を行ってきました。5月8日から感染症法上位置づけが5類に変更となりましたが、京都市においても徐々に新規感染者が増えており、会員施設においても感染者が確認されており、会員施設においても感染者が確認されており、

こうしたなかで、新型コロナウイルス感染症と物価高騰などの影響により、各施設・事業所の経営面での事業運営はたいへん厳しい状況が続いており、各法人とも経費削減のために様々な工夫や弛まない努力を行っていますが、介護報酬が公定価格であることなどから自助努力には限界があります。

こうしたなかで、今年の3月に国会議員に対して物価高騰対策支援の財源確保を政府に働きかけていただくように要望し、京都市に対しても光熱費等が高騰している現状等を伝えて、国に対しての財源確保と高齢者福祉事業に対する公的支援の重点化などを要望しました。

その後、政府による財源確保を受け、京都市でも、

令和4年度に引き続き「令和5年度物価高騰対策支援金」を支給するための補正予算案が取りまとめられ、令和5年5月29日に京都市会で可決されました。

こうしたこれまでの経過や今後の取組み、そして京都市などに対して食材費高騰対策支援金などの継続を要望するために6月に実施したアンケートに寄せられた会員の声などについて、当協議会のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

(QRコードはこちら)



今後も厳しい状況が続くと見込まれることから、社会福祉法人として、高齢者の命と健康を守り、質の高いサービス提供を継続することによって高齢者の尊厳を守ることができるよう、そして安定した事業運営を行うことにより職員にとっても働きやすい環境が維持できるよう、令和6年度介護報酬改定にあたっては、基本報酬部分が引き上げられるよう、加えて報酬改定までの間の支援を行うことを、京都市や関係団体等と連携して国などに働きかけていきます。

(事務局長 堀池 克彦)



令和5年3月 山岸会長(当時)から、京都市健康長寿のまち・京都推進担当局長の谷利局長に要望書を提出



令和5年5月 児玉会長が門川大作京都市長を表敬訪問して連携を依頼



# ハートメッセンジャー

## メンバー紹介

市原 寮  
森垣さん



## メンバー紹介

みやびのそのデイサービスセンター  
目野さん



介護の仕事を選んだ理由

祖母が介護の仕事をしていてやりがいがあると話していたので興味を持ちました。



好きな言葉、座右の銘は？

「なるようになる」



趣味・特技を教えてください。

趣味は映画鑑賞で、特技はサッカーです。



ハートメッセンジャーとして一言！

介護の仕事は大変な仕事ですが、それ以上にやりがいを感じる仕事です。そのやりがいを知ってもらえたらと思います。



介護の仕事を選んだ理由

大学で音楽療法を勉強していて、実習で高齢者施設に行ったことがきっかけです。



好きな言葉、座右の銘は？

やればできる！！



趣味・特技を教えてください。

楽器を演奏することが好きです。



ハートメッセンジャーとして一言！

介護の仕事の楽しさ、魅力をお伝えできるよう頑張ります！



そせい苑  
伊佐さん



ももやま  
後長さん



介護の仕事を選んだ理由

少子高齢化で働き手が必要だと感じたからです



好きな言葉、座右の銘は？

人の役に立つ



趣味・特技を教えてください。

趣味はテレビゲームをすること



ハートメッセンジャーとして一言！

大変な仕事ですが大事な仕事だと思うので一緒に頑張りたいです



介護の仕事を選んだ理由

介護の仕事について話を聞き、楽しそうと感じたからです。



好きな言葉、座右の銘は？

継続は力なり



趣味・特技を教えてください。

サッカー



ハートメッセンジャーとして一言！

介護の楽しさや魅力を一人でも多くの方に知っていただきたいです。





# 京都すばる高校 コラボ動画紹介



動画はこちらからも  
ご視聴いただけます



市老協ホームヘルプ部会では、京都府立京都すばる高等学校の学生さんに依頼させていただき、ホームヘルパーの魅力発信・イメージアップのための動画制作を行いました。このコラボ企画は、令和三年度より話し合いを進め、コロナ禍の影響もあり、撮影日程の調整など時間を要す時期もありましたが、学生さん目線の楽しい動画が完成しました。

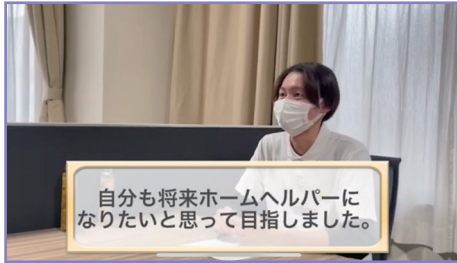
まず、動画制作を開始するにあたり、学生さんと介護の仕事やホームヘルパーの仕事内容、ホームヘルプ部会が動画を通して伝えたい内容などを話し合いました。話し合いを通して私達も若い学生さんと触れ合う事で大変刺激をもらい、学生さんが提案してくれた動画内容も私達では思いつかない内容も見られ、楽しい時間となりました。

実際の撮影では、ホームヘルプ部会より、「鳥羽ホームヘルプサービスセンター」、「ヘルパーステ

ーションヴィラ向島」、「ももやまホームヘルプステーション」、「訪問介護事業所くつかけ」に撮影協力をいただきました。撮影時も職員、学生さん、利用者さんと和やかな雰囲気の中、楽しく撮影を行うことができました。訪問先でのサービスの様子やホームヘルパーの楽しさ・やりがいを伝える内容、オリジナルのキャラクターを使用した内容、ゲームの世界に入り込んだ内容などバラエティに富んだ内容の動画に仕上げてくださいています。

今回、このようなホームヘルパーの魅力発信・イメージアップのための素晴らしい動画を制作して下さった京都すばる高等学校の学生の皆さんに、心より感謝致します。この動画は市老協のYouTubeにもアップロードしていただいております。ぜひ、多くの方にご覧になっていただき、ホームヘルパーの魅力発信を広げていければと思っております。

(ホームヘルプ部会 角城 尚樹)



## 感謝状贈呈



令和5年5月某日、感謝状を贈呈させていただきました。小川先生、生徒の皆さん、本当にありがとうございました！



一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1ひと・まち交流館京都 4F  
TEL 075-354-8743 / FAX 075-343-6270

発行人：児玉 直久 / 編集人：安岡 英樹 / 生田 奨人 / 北井 いづみ / 洞林 孝之

掲載されたすべての写真の肖像権について同意を頂いております。また新型コロナウイルス感染症について、対策を徹底した上で撮影頂いております。



しろうきょう

検索